

令和7年度事務事業評価（令和6年度事後評価）

地域振興部

所属名	事務事業名	ページ番号
地域政策課	有線テレビ運営事業	2
地域政策課	定住促進対策事業（過疎債）	3
地域政策課	過疎地域活性化対策事業	4
地域政策課	地域おこし協力隊事業	5
地域政策課	富土地域振興センター運営事業	6
地域政策課	諸富地区ふるさと創生基金活用事業	7
地域政策課	富士地区ふるさと創生基金活用事業	8
地域政策課	三瀬地区ふるさと創生基金活用事業	9
地域政策課	東与賀地区ふるさと創生基金活用事業	10
地域政策課	久保田地区ふるさと創生基金活用事業	11

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	有線テレビ運営事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	白武 正孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広報の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	地上デジタル放送の地理的難視聴地域である富士町、三瀬村、大和町北部をエリアとして、有線テレビを運営する。施設の管理運営は、佐賀シティビジョン株式会社（ぶんぶんテレビ）を指定管理者として行う。また、佐賀市の伝送路を佐賀シティビジョンに貸し付けることで、同エリアにおいては佐賀シティビジョンのインターネットサービスや多チャンネルサービスに加入することができる。				
事業の対象者	対象エリア（富士町、三瀬村、大和町北部）の住民				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・有線テレビ加入世帯数 1, 4 6 2 件（令和7年3月末時点） ・指定管理業務：課金業務、施設・設備の維持管理等 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	56,806	53,319	54,677	54,324	52,588
うち佐賀市の負担額	56,806	53,319	54,677	54,324	52,588

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
有線テレビ加入件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,588	1,588 1,545	1,588 1,510	1,588 1,485	1,588 1,462		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	人口減による契約者数の減少や、デジタル化の進展に伴う佐賀市有線テレビ契約から佐賀シティビジョンのインターネットサービス等への移行に伴う減少も見られるが、一定数の加入者を維持できている。



今後の改善策、対応策等
適正な維持管理を行い、快適なテレビの視聴環境を提供することにより加入者数の維持を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	定住促進対策事業（過疎債）	事業期間	平成 21 ～ 令和 6 年度
担当部署・係名	地域政策課 中山間地域支援係	担当課長名	白武 正孝
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	経営の仕組みの充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	平成20年度から「限界集落対策」を少子高齢化や人口減少の傾向が特に顕著な北部の山間部を中心に進めている。北部山間地域（大和町松梅地区・富士町・三瀬村）に定住してもらうことにより、人口減少幅を緩やかにすると共に集落の活性化・コミュニティの維持を図る。				
事業の対象者	北部山間地域（大和町松梅地区・富士町・三瀬村）以外に居住する住民				
令和6年度主な活動実績	・北部山間地域において、空き家バンク制度の運営及び空き家に対する改修費助成を行った。（新規登録物件7件、見学会開催22回（延べ37組74名参加）、成約5件、利用希望者登録数113人（うち新規登録者72人、空き家改修費助成補助実績 8件（改修：6件、不要物撤去：2件）） ・R7年2月に集落支援員（富士町担当者、大和町松梅地区及び三瀬村担当者）を対象に「小さな拠点」をテーマとしたセミナーを行い、日常の集落支援活動の強化を図った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,645	5,857	9,445	12,843	11,286
うち佐賀市の負担額	1,131	1,139	1,112	1,143	5,586

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位		
空き家バンク利用登録者数						人		
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
54	70	70	70	70	96	138	115	113

成果指標②						単位		
空き家バンク新規登録物件数						軒		
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
4	10	10	10	10	9	15	8	7

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	空き家物件の掘り起こし等を担当している集落支援員の活動により、空き家の登録ができています。また、中山間地域に興味がある層をW E Bなどの広報活動により新規登録に結び付けられている。ただし、空き家バンク制度の地域の周知不足、残置物の処理等の理由で空き家バンク登録に結びつかない場合がある。

今後の改善策、対応策等

空き家バンク制度の周知が不足していることから、W E Bやチラシなどの広報活動の強化や空き家の掘り起こしを行う集落支援員との情報共有を密にし、地域への周知活動を実施するとともに、中山間地域情報を発信しているW E Bサイトにて、詳細な空き家情報（室内映像）、オンライン利用登録システムなどを活用して空き家バンクの利用促進を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	過疎地域活性化対策事業	事業期間	平成 23 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 中山間地域支援係	担当課長名	白武 正孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	過疎地域の活性化対策として、住民が自らの地域のことをよく理解し、地域の資源を活かしたまちづくりができるよう、他の地域のまちづくりの事例を見聞したり、住民同士の勉強会や情報交換を行うことで、住民自らがまちづくりについて考え、実践できるように支援する。				
事業の対象者	市民（過疎地域、富士町地区市民、三瀬村地区市民）				
令和6年度 主な活動実績	過疎地域の活性化対策として、住民が地域資源などについて情報収集できるよう、地域の魅力やイベント等の情報発信を行うとともに、地域の活性化に向けたまちづくりの取組への支援などを行った。 ・三瀬村活性化会議（研修会1回（4人参加）、講習会1回（29人参加）、花苗植栽活動） ・地域情報の発信業務（幸報ふじ：発行6回） ・小さな拠点づくり（研修会（1回）、視察研修（1回））				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,477	5,906	6,545	2,854	2,041
うち佐賀市の負担額	558	6	45	54	20

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
地域情報の発信回数						回
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
6	6	6	6	6	6	6
	6	6	6	6		

成果指標②						単位
研修会等参加人数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
51	50	50	50	50	69	30
		30	29	33		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、活発化がみられたものの、まだ自粛ムードが続き参加者が少なかった。しかしながら、研修会や講習会を通じ、まちづくりについての意識向上につながった。



今後の改善策、対応策等
引き続き地元住民と行政が現状や課題等の共通認識を持ったうえで、行政主導ではなく一緒に地域活動の活性化を行っていきけるよう支援を行う。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域おこし協力隊事業	事業期間	平成 31 ~ 令和 6年度
担当部署・係名	地域政策課 中山間地域支援係	担当課長名	白武 正孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	人口減少、高齢化等の進行が著しい本市において、地域外の人材を本市に招致してその定着を図るとともに、若者等の定住及び地域の活性化等を促進する。				
事業の対象者	佐賀市以外の都市圏に居住し過疎地域への移住を希望する若者				
令和6年度 主な活動実績	R6年度については、2名の隊員を配置し、地域イベント、地域団体の活動支援など地域支援活動や、野草を使った地域特産品の開発、地域広報誌の発行支援などを実施している。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	10,770	11,463	11,098	7,437	7,251
うち佐賀市の負担額	10,770	11,463	11,098	7,437	7,251

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
地域おこし協力隊活動者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	7 4	6 3	6 2	6 2		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	地域おこし協力隊を募集する時のミッションがより具体的なミッションではなかったことから、応募者が少なかったため。



今後の改善策、対応策等
地域おこし協力隊のミッションのより具体的な設定、地域おこし協力隊のおためしイベントの開催、W E Bによる実際の隊員の活動の掲載など広報活動の強化を行い地域おこし協力隊業務をイメージしやすくすることで応募者を増やしていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	富士地域振興センター運営事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 中山間地域支援係	担当課長名	白武 正孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	人々に憩いと交流の場を提供するとともに、山間地域の豊かな資源を活用した地場産業の生産性の向上及び地域間交流の促進を図る。(指定管理者：株式会社佐賀古湯キャンプ 開館時間：11時～19時(水曜定休))				
事業の対象者	富士地域振興センター利用者				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・富士地域振興センターの修繕及び富士山村広場における人工芝の定期メンテナンスを行った。 ・富士地域振興センターの経営改善検討のため、指定管理者の経営診断を実施した。 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,682	11,863	65,558	37,152	2,728
うち佐賀市の負担額	1,682	11,863	24,658	4,803	2,728

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
富士地域振興センター宿泊数						泊
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,960	7,000 3,774	7,000 5,890	7,000 8,024	7,000 9,766		

年度	目標	実績
R2	7,000	2,960
R3	7,000	3,774
R4	7,000	5,890
R5	7,000	8,024
R6	7,000	9,766

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	企業研修や専門学校のオリエンテーションなど、平日の施設利用者が増加し、成果目標を達成することができたと分析する。

今後の改善策、対応策等
更なる利用者獲得のための広報・営業を継続すると共に、施設利用者の満足度を向上させる取り組みを実施していく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	諸富地区ふるさと創生基金活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	白武 正孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市諸富地区ふるさと創生基金とその運用益を「合併前の諸富地区の豊かな地域づくりに資する」ための事業に充当する。				
事業の対象者	諸富地区に活動の拠点又は住所を有する団体等				
令和6年度 主な活動実績	・諸富地区での地域の活性化に寄与する事業に対して、ふるさと創生基金を財源とした補助金を交付した。（R6交付件数：9件）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,010	1,719	1,700	1,700	1,975
うち佐賀市の負担額	1,010	1,719	1,700	1,700	1,975

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活用団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
9	9 9	9 8	9 8	9 9		

Year	Target	Actual
R2	9	9
R3	9	9
R4	9	8
R5	9	8
R6	9	9

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target	Actual
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	地域の活性化に寄与する事業等の取組がなされている。



今後の改善策、対応策等
基金の有効活用という観点から、地域住民に対し支所等を通じて広報に努めていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	富士地区ふるさと創生基金活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	白武 正孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市富士地区ふるさと創生基金とその運用益を「合併前の富士地区の豊かな地域づくりに資する」ための事業に充当する。				
事業の対象者	富士地区に活動の拠点又は住所を有する団体等				
令和6年度 主な活動実績	・富士地区での人材育成事業等の取組に対して、ふるさと創生基金を財源とした補助金を交付した。 (R6 交付件数：2件)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	0	145	190	236
うち佐賀市の負担額	0	0	145	190	236

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活用団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	1 0	1 1	1 1	1 2		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	人材育成事業等の取組がなされている。



今後の改善策、対応策等
基金の有効活用という観点から、地域住民に対し支所等を通じて広報に努めていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	三瀬地区ふるさと創生基金活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	白武 正孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市三瀬地区ふるさと創生基金とその運用益を「合併前の三瀬地区の豊かな地域づくりに資する」ための事業に充当する。				
事業の対象者	三瀬地区に活動の拠点又は住所を有する団体等				
令和6年度 主な活動実績	・三瀬地区での人材育成に寄与する事業に対して、ふるさと創生基金を財源とした補助金を交付した。 (R6 交付件数：1件)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	0	11,504	1,073	200
うち佐賀市の負担額	0	0	11,504	1,073	200

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活用団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	1 0	1 3	1 3	1 1		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	地域・産業活性化事業等の取組がなされている。



今後の改善策、対応策等
基金の有効活用という観点から、地域住民に対し支所等を通じて広報に努めていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	東与賀地区ふるさと創生基金活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	白武 正孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市東与賀地区ふるさと創生基金とその運用益を「合併前の東与賀地区の豊かな地域づくりに資する」ための事業に充当する。				
事業の対象者	東与賀地区に活動の拠点又は住所を有する団体等				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・東与賀地区でのコミュニティ施設整備や、ごみステーション設置の取組に対して、ふるさと創生基金を財源とした補助金を交付した。 (R6 交付件数：4 件) ・東与賀地区内の行事予定及び地域づくり活動の紹介などを記載したカレンダー等を作成し、世帯配付した。 (R6 頒布実績：12 回) 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	888	671	1,317	1,406	914
うち佐賀市の負担額	888	671	1,317	1,406	914

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活用団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4	2 2	2 5	2 5	2 4		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	コミュニティ施設等の整備及びカレンダー作成配付の取組が実施できている。



今後の改善策、対応策等
基金の有効活用という観点から、地域住民に対し支所等を通じて広報に努めていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	久保田地区ふるさと創生基金活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	白武 正孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市久保田地区ふるさと創生基金とその運用益を「合併前の久保田地区の豊かな地域づくりに資する」ための事業に充当する。				
事業の対象者	久保田地区内に活動の拠点又は住所を有する団体等				
令和6年度 主な活動実績	・久保田地区での活力ある地域づくり事業等の取組に対して、ふるさと創生基金を財源とした補助金を交付した。 (R6 交付件数：1件)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	0	1,000	1,000	800
うち佐賀市の負担額	0	0	1,000	1,000	800

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活用団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	1 0	2 2	2 2	2 1		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	活力ある地域づくり事業等の取組がなされている。



今後の改善策、対応策等
基金の有効活用という観点から、地域住民に対し支所等を通じて広報に努めていく。